



根は鎮咳去痰、清熱作用があり、熱性疾患および肺炎や気管支炎の咳や痰、熱病および糖尿病による口渴などに用いる。種子は清熱、鎮咳去痰、通便作用があり、熱性の咳や痰、乾燥性便秘に用いる。果実はそれらの作用のほか、清熱、鎮咳去痰、潤腸に加え、胸の痛みやつかえを除く作用がある。





かまきりの卵

カマキリは、4~5月に孵化し、ひとつの卵のうには、200~300個の卵が入っています。なので、孵化すると、200~300匹のカマキリが出て来ます。





磯辺団地の秋
紅葉した桜の木と千両の実